



2016 年 12 月 7 日

岩手県教育委員会 御中

株式会社テレビ岩手

「ぼくのわたしの防災手帳」に係るご協力のおねがい

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、テレビ岩手では、昨年 24 時間テレビチャリティー委員会の寄付で制作した「みんなの防災手帳」の子ども向け版を制作し、岩手県の中学生へ寄贈させて頂くこととなりました。

「ぼくのわたしの防災手帳」とは、東北大学災害科学国際研究所が「みんなの防災手帳」の制作ノウハウを生かし、子ども向けの防災マニュアルとして開発したものです。本企画では、この手帳を岩手県内の中学生に配布し、学校でご家庭で活用していただくことで、子どもたちの防災意識の向上を図ることを目的とし、毎年継続して寄贈していきたいと考えております。

つきましては、本企画の趣旨をご理解頂き、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

記

- 主 催 テレビ岩手・東北大学災害科学国際研究所・東北博報堂
- 協 賛 協賛各社（今後依頼予定・協賛広告ページ有）
- 予定配布数 岩手県内 171 校（国公私立）の中学 1 年生 11,396 名分を予定
- 予定配布物 ぼくのわたしの防災手帳（1 人につき 1 冊）、教材用 DVD（各校に 1 枚）
- 納品予定日 2017 年 1 月 20 日（金）から順次配布予定。
- 納品場所 各学校ごとに個別に郵送にて納品致します。
- その他 「ぼくのわたしの防災手帳」の活用法を紹介する特別番組を放送します。
放送局 テレビ岩手
放送日時 平成 29 年 1 月 28 日（土）午後 3 時～3 時 30 分（30 分番組）（予定）
タイトル 「ぼくのわたしの防災手帳」その活用法～中学校 1 年生に配布～（仮）
- 依頼事項 ① 本企画への「協力」の名義をいただきたくお願い申し上げます。
② 「ぼくのわたしの防災手帳」配布に関して、ご協力お願い申し上げます。
③ 来年度実施予定の、教職員向け「ぼくのわたしの防災手帳」活用講座の実施へのご協力お願い申し上げます。



参考資料

■ぼくのわたしの防災手帳について (別添①)

東北大学災害科学国際研究所 (IRIDeS, 所長: 今村文彦) の監修。東日本大震災をはじめ、さまざまな自然災害の研究成果と、「みんなの防災手帳」の制作ノウハウを活かし、子ども向けの防災・減災マニュアルとして開発したものです。

この手帳の制作にあたっては、研究所の実践的防災学の理念のもと、宮城県多賀城高校の生徒（被災当時は中学生）にインタビューを実施。インタビューの研究結果から、子どもたちは大人とは違う「6つの生きる力」を持ち合わせていることが判明。

「ぼくのわたしの防災手帳」は、この「6つの生きる力」を子どもたちにもきちんと伝え、いざという時にその力を発揮できるように、サポートしていくための手帳。

■みんなの防災手帳について

東北大学災害科学国際研究所 (IRIDeS, 所長: 今村文彦) の監修により開発。東日本大震災をはじめ、さまざまな自然災害の研究成果を活かしながら、災害意識の啓発を行うとともに、発災後の迅速な復旧復興につながる実践的なツール。時間軸に沿った全6章で構成され、そのうち5章は汎用性の高い防災減災対策情報を盛り込む。別冊として各自治体のオリジナルの地域情報を組み入れて完成する形態。自治体独自の情報があることで、住民には自分にとっての関心事となり、発災時においては行政の業務サポートにもなる。

岩手県沿岸12市町村 2014年9月 全戸配布

岩手県内陸21市町村 2015年9月 全戸配布

■東北大学災害科学国際研究所^{イリディス}(IRIDeS) について

東日本大震災という未曾有の災害を経験した東北大学は、2012年4月新たな研究組織「災害科学国際研究所」を設立しました。本研究所は、東北大学の英知を結集して被災地の復興・再生に貢献するとともに、国内外の大学・研究機関と協力しながら、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進する機関です。

東日本大震災の経験と教訓を踏まえた上で、わが国の自然災害対策・災害対応策や国民・社会の自然災害への処し方そのものを刷新し、巨大災害への新たな備えへのパラダイムを作り上げることを目指しています。このことを通じて、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことを目標としています。

高い志と強い危機意識をもった、文科系から理科系まで7部門36分野の研究者がこの研究所に結集し、さまざまな視点から災害科学の研究を推進していきます。防災科学研究拠点に関わった多くの研究者が、災害科学国際研究所に専任教員または兼務教員・研究協力教員として所属しています。各種委員も務めている。